

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成30年度第1回河内長野市環境審議会
2 開催日時	平成31年 2月18日(月) 午後3時から
3 開催場所	市役所301会議室
4 会議の概要	1. 環境審議会の組織及び運営について (1) 委員紹介 (2) 会長及び副会長の選出 2. 環境基本計画について (1) 計画策定に係る諮問 (2) 計画の概要 (3) 計画の進捗状況 (4) 今後のスケジュール 3. その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	無し
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境経済部環境政策課環境政策係 (内線 420)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 河内長野市環境審議会委員名簿

所属	氏名
公立大学法人大阪府立大学	浦出 俊和 <small>うらで としかず</small>
関西電力株式会社大阪支社 東大阪コミュニケーショングループ	北村 友也 <small>きたむら ともや</small>
エコライフかわちながの	木之下 純子 <small>きのした じゅんこ</small>
公益財団法人河内長野市公園緑化協会	竹田 義 <small>たけだ ただし</small>
	辻 常男 <small>つじ つねお</small>
	槌野 弘文 <small>つちの ひろふみ</small>
日本農薬株式会社総合研究所	中西 弘幸 <small>なかにし ひろゆき</small>
学校法人大阪産業大学	花田 眞理子 <small>はなだ まりこ</small>
NPO法人森林ボランティアトモロス	堀 泰明 <small>ほり やすあき</small>
大阪府森林組合南河内支店	堀切 修平 <small>ほりきり しゅうへい</small>
河内長野ガス株式会社	吉田 顕 <small>よした あきら</small>

## 平成 30 年度第 1 回 河内長野市環境審議会 会議要旨

### ○会議名称

平成 30 年度第 1 回河内長野市環境審議会

### ○開催日時

平成 31 年 2 月 18 日（月） 午後 3 時から午後 5 時 5 分まで

### ○開催場所

市役所 3 階 301 会議室

### ○出席者

河内長野市環境審議会委員（別紙、委員名簿に記載のとおり。）、河内長野市長、事務局職員（太口環境経済部長、大谷環境経済部理事、西野環境政策課長補佐、下神係長、市川。）

### ○傍聴者

無し

### ○会議次第

1. 環境審議会の組織及び運営について
  - (1) 委員紹介
  - (2) 会長及び副会長の選出
2. 環境基本計画について
  - (1) 計画策定に係る諮問
  - (2) 計画の概要
  - (3) 計画の進捗状況
  - (4) 今後のスケジュール
3. その他

### ○会議資料

- ・河内長野市環境基本計画（平成 28 年 3 月中間見直し）
- ・資料 1：河内長野市環境基本計画の策定に係る諮問について
- ・資料 2：平成 29 年度河内長野市環境報告書
- ・資料 3：環境基本計画重点プラン実施計画（平成 29 年 1 月策定）
- ・資料 4：河内長野市環境審議会スケジュール

## ○内容

### 1. 環境審議会の組織及び運営について

#### (1) 委員紹介

各委員より自己紹介を行った。

#### (2) 会長及び副会長の選出

審議会規則に基づき、委員の互選により会長・副会長を選出した。委員の中から、花田委員を会長に、浦出委員を副会長に推挙する意見があり、委員全員の同意と花田委員、浦出委員の承諾を得た。

### 2. 環境基本計画について

#### (1) 計画策定に係る諮問

河内長野市長から環境審議会会長へ、環境基本計画の策定について諮問を行った。

#### (2) 計画の概要

事務局にて、環境基本計画及び資料3 環境基本計画重点プラン実施計画に基づき、計画の概要について説明を行った。委員より次のとおり意見があった。

- ・中間見直しで整理されたが、まだ内容が広がりすぎていて、目標や主要施策がわかりにくい。
- ・国内外の動きに沿っていない。新しい計画には、市長の諮問にあったように、SDGs の目標に合わせた施策は取り入れるべき。
- ・文字、枚数が多い。環境分野の計画なので資料の枚数を減らし電子化すべき。
- ・市が主体となった取組みが多く、市民の役割が見えない。計画自体が、市民へ周知されていない。
- ・市の資源や魅力を活かせていないので、河内長野市らしい目標を立てて、市民目線の計画を策定する必要がある。
- ・国には国としての、大阪府には大阪府としての役割があり、包括的に基本計画を策定しているが、そのまま真似するのではなく、市の特性や規模に合わせた計画を策定すべき。

#### (3) 計画の進捗状況

事務局にて、資料2 平成29年度河内長野市環境報告書に基づき、計画の進捗状況について説明を行った。委員より、達成できていない項目が一目でわかり、今後に取り組むべき内容がわかりやすい、との意見があった。

#### (4) 今後のスケジュール

事務局にて、資料4 河内長野市環境審議会スケジュールに基づき、今後のスケジュールについて説明を行った。委員より、次のとおり意見があった。

- ・新計画の策定に向け、再来年度ではなく来年から具体的な内容を審議していく必要があると考える。来年度の1回目もしくは2回目の会議で、毎回の議事や計画素案など具体的な内容を事務局から提案して欲しい。
- ・会議資料は、会議の10日前には送付して欲しい。

事務局より、上記の意見のとおり対応する旨を返答した。

### 3. その他

バイオスタウンの推進については、これまでも環境基本計画の主要施策の一つとして推進してきたが、バイオスタウン推進協議会が当初の設置目的を達成したことにより廃止の予定であるため、今後は、環境審議会において、バイオマス資源の活用等の検討事項について審議を行うほか、「バイオスタウン推進計画」の策定・見直しに関しても意見をいただきたい旨を、事務局から説明したところ、出席委員より了承を得た。

また、上記の審議等を行うために環境審議会の中にバイオマス部会を設置することについて、委員に意見を求めた。会長より、現時点でバイオスタウン推進協議会が設置されていること、また、第1回目の会議では今後の審議会の方針を決定するのは難しいことから、次回の審議会でも回答したいとの意見があった。他の委員もこの意見に同意されたため、来年度の審議会に回答をいただくこととなった。

すべての議事が終了したため、会議を閉会した。

以上